



長野県シニア大学佐久学部2年生

『花ざかり』



県シニア大学佐久学部の2年生でつくるグループ。2年生は12のグループに分かれて地域課題に取り組んでおり、この「花ざかり」はそのグループのうちの1つ。「地域に友情の花を咲かせよう」をテーマに、各家庭で育てた花を花束にして福祉施設に寄贈することをねらいに活動を続け、このほど佐久市内の高齢者施設「シルバードランドみつい」と「シルバードランドさしの」の2施設に花を届けたところだ。

「花ざかり」のメンバーは7人。春先に種をまき、計18種の花を手塩にかけて育ててきた。花の生育作業は各家庭で行うものの、「メンバーが顔を合わせた時には、それぞれの家の花の状況など、情報交換もしながら作業を進めてきた」とリーダーの柳澤智人さん(80)。「佐久市塚原」で、贈った花を見ることで、施設の入所者や職員の方々の心が少しでも和んでくれたらうれしい。

花の寄贈で当初の目標は達したものの、「花き農家を訪問して、花の知識をより深めた」との声も挙がって

おり、「秋に向けて新しい活動を計画したい」と意気込んでいる。

県シニア大を運営する長野県長寿社会開発センター佐久支部・社会活動推進員の太田達也さんによると、「学生の間から高齢者施設へ慰問したいという声は挙がっていたものの、ここ数年はコロナ禍で叶わなかった」という。「今年度は施設の受け入れも再開し、こうした活動もできるようなった。今後も活動の幅を広げたい」。

メンバーは次のみなさん。
 ▼リーダー 柳澤智人
 ▼サブリーダー 山根正夫
 井出玲子 足立かつ子
 土屋修子 島山芳枝
 片山健一郎

気軽にすぐ電話!



手塩に育てた花

高齢者施設に寄付

★「終活」と「相続」
 テーマにセミナー 8月26日(土)午後1時半から4時50分まで立科町中央公民館で。終活カウンセラーの矢島佳代子さんが「終活」について話す。今井亮弁護士による「相続」の話も。会費は無料。